

Masayuki  
Hashimoto

# 造形的自己変革

素材・身体・造形思考

橋本真之

## 工芸と美術の境界を超えて

「鍛金」という制約の多い古典的な工芸技法に革新的な表現をもたらし、素材〈物質〉への関与〈行為〉に生起する思考〈方法〉に造形の本質を探究。遙かなる時空へ向け制作を継続する美術家の造形論。

### 造形的自己変革 —— 素材・身体・造形思考

橋本真之 著

四六判・上製・224頁

定価：本体2400円＋税

発行：美学出版 2016年6月23日刊行 ISBN 978-4-902078-42-8

人はいかなる場処からでも、いかなる時からでも、造形的出発は可能である。ただし、それはひとつの発端を掴み得れば、ということである。それは内在的な事象であるか、外在的な事象であるかを問わない。ひとつの発端とは、どの様にして起こり得るのか？ おそらく偶然の出来事が切っ掛けなのだが、発端は自我の突出として現われるはずである。

「造形的発端について」より

[目次]

#### I 造形的自己変革

造形的発端について／方法の理路・素材との運動／方法的限界と絶対運動／存在の上澄みに向かって

#### II 素材論

物質との跳躍／「素材と身体」鍛金における

#### III 造形の出口

風の吹いている草原／真空に向かう風／時の集う星月夜／聖なる声の聞こえるベッド／頭と肩との間のはるかな距離／耳の中の蟬時雨／崇高な無名者の肖像／書割の向こうの散歩道／画家の労作／「時」の礪白の間で／老いたる麒麟の花／やがて超え行く人に

#### IV 随筆・寄稿

茶碗考／現代の芸術行為／『木との対話、新たに』を見る／十九歳への返書／筆力という難問／「凡庸の勝利」モランディ覚書／関井一夫の手／「アバカノヴィッチ」覚書／工芸的なあまりに工芸的な自己変革／工芸の力

著者略歴

橋本真之(はしもと・まさゆき)

1947年埼玉県生まれ。美術家。1970年東京藝術大学美術学部工芸科卒業。1972年同大学院鍛金専攻中退。2014年より金沢美術工芸大学大学院教授。主な展覧会に1990年「作法の遊戯」(水戸芸術館現代美術センター)、1993年「拡大する鍛金」(栃木県立美術館)、「手わざと現代」(埼玉県立近代美術館)、1995年「第30回今日の作家展」(横浜市民ギャラリー)、1999年「工芸オブジェの系譜」(東京国立近代美術館工芸館)、2002年「現代日本工芸展——素材と造形思考」(ベトロナスギャラリー、マレーシア/ナショナルギャラリー、イン

ドネシア/国際交流基金事業)、2003年「アーティスト・プロジェクト1成長する造形・橋本真之「果実の木もれ陽」(埼玉県立近代美術館)、2007年「工芸の力——21世紀の展望」(東京国立近代美術館工芸館)、2010年「第1回金沢・世界工芸トリエンナーレ」(金沢市)、2013年「清州国際工芸ビエンナーレ 2013」(清州市、韓国)等、数多くの展覧会に出品。主な受賞に1995年「第16回現代日本彫刻展」(宇部市常盤公園)で宇部市野外彫刻美術館賞と埼玉県立近代美術館賞、1997年「第17回現代日本彫刻展」で山口県立美術館賞を受賞。共著に『美術史の余白に——工芸・アルス・現代美術』(美学出版、2008年)ほか。

注 文 書

全国の主要書店・美術館にてお求めいただくか、直接小社にメール、FAX等でお申し込みください。

橋本真之〔著〕『造形的自己変革 —— 素材・身体・造形思考』を

冊申し込みます。 ISBN 978-4-902078-42-8

ご氏名

Eメール

ご住所(〒 - )

お電話

FAX

\*弊社から直接ご購入いただけます(入金確認後、直送。送料は当方負担)。  
HPから、またはFaxおよびメールにてご注文ください。  
折り返しで入金方法等をご案内いたします。

美学出版

Tel. 03-5937-5466 Fax. 03-5937-5469

e-mail: info@bigaku-shuppan.jp http://www.bigaku-shuppan.jp